

します。

共同研究

アゼアス株式会社 光音技術グループ・実証試験セクター

Q 共同研究って、どんなものですか？



企業や業界団体、大学などと協力して、お互いの持つ技術やノウハウを融合し補いあって、共同で技術開発や新製品開発を進める取り組みです。

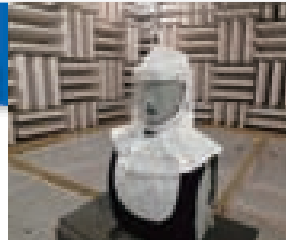
光音技術 グループ
服部 遊

共同研究企業インタビュー

開発した
製品

静かで会話がしやすい 医療用呼吸防護フードの開発

そもそも、感染症治療を行っている病院から都産技研に「医療関係者を感染症から守る電動ファン付き呼吸用保護具を、静かで会話がしやすいものにしてほしい」という要望があり、アゼアス様に協力をお願いしたのがきっかけでした。



(左)完成品(右)左の黒い箱はフィルターを内蔵した電動ファン。腰に装着しフード内に空気を送り込む



- 都産技研
- アゼアス(株)

●フードの候補になる素材の提供を依頼
→●数種類の素材を選択し、提供

開発から
完成まで

●素材の遮音性、音の透過性、防音効果、騒音レベル等を測定、試験
→●測定・試験の結果を踏まえた試作品を製作
●試作品の防音、遮音、聞こえやすさを測定

●アゼアス(株)、●都産技研が共同で病院でデモンストレーションを行い、さらに要望をいただき、改善を加える

●要望を反映した試作品を製作。形が決まった時点で、防護性能テストを実施

完成、
病院へ納入

「音がうるさくない」「会話ができる」などの高評価をいただきました



アゼアス株式会社
防護服・環境資機材事業部
マーケティング部

熊谷 慎介 部長

Q. 参加した理由は？

都産技研が測定、防音、音の効果のノウハウを持った“音のプロ”であったことです。それは弊社にはないものですから、共同研究によって、双方の強みを生かし、弱みを補い合っって良い製品が出来るのではないかと思ったのが、大きな理由でした。

Q. 最も苦労した点は？

例えば聴診器が使えるようにしたいなど、防護服の通常のセオリーからするとおもいよらないニーズがあることを実感しました。最終的にはフードの下から聴診器を入れる形で落ち着きましたが、現場のニーズとの間で、いかに接点をつくるかが一番苦労した点です。

Q. 共同研究のメリットとは？

都産技研さんが持つ音のノウハウは国内でもトップレベルです。測定機器も充実しています。中小企業が高価な測定機器を購入するのは難しいので、機器を使わせてもらいノウハウを提供してもらったことで、一企業だけではなしえなかった成果が得られたと思います。また、この製品は特許を申請しているのですが、その手続きなどもスピーディーに対応してくださって、営業的にもとても助かりました。